

学校教育目標 郷土「山寺」を愛し、社会に役立つ人間の育成

一人ひとりが主人公

重点目標の設定理由
(子どもを語る会より)
・見通しをもって学び、自分の言葉で話せる子ども
・自分の良さを知り自覚している子ども
・自分と他者の違いを受け入れる子ども
・物事を自分事としてとらえ、**自治の力**がある子ども
・前向きに物事をとらえ、**失敗から学ぶ**、心が折れない子ども

いじめのない学校

重点目標 目指す子ども

相談しやすい学校

重点目標の評価と検証方法
○学校評価 ○学期ごとの反省職員会議
○学習評価や通知表の在り方検討
○全国学力学習状況調査結果
○標準学力調査

考える子ども

助けあう子ども

たくましい子ども

確かな学力

豊かな心

健やかな体

季節の俳句

山寺物語・磐司太鼓

チャレンジランニング

英語で俳句

小中合同
地区一斉清掃

小中合同運動会

小中合同句会

読み聞かせ・語り聞かせ

垂水遺跡、奥の院探索

山寺小中学校の特色ある活動 (特認校)

1日総合DAY
Input

Do

地域探究活動

Yamadera
welcoming tour
output

学校全体における子どもを育てる具体的な取り組み

指導の個別化と学習の個性化
特別支援教育とICT (キュービナ・リタリコ教育ソフト)

教育相談機能の充実
相談機会の増、県SCや専門機関との連携

英語教育の充実
中学校乗り入れ授業、ALTの活用

郷土愛の育成とつなぐ伝統
俳句を通じた小中合同活動、山寺の魅力発信

重点目標を具現化する校内研究
研究テーマ

社会で通用する自立した個の力を備えた児童生徒の育成～自己調整力を育むカリキュラムマネジメント～(3年次)

研究の方法

目指す子どもの姿を明確にし、自己調整力を育むための9年間を見通したカリキュラムマネジメント表を作成し、実践しながら評価・改善を加えより効果的な指導や支援を行っていく。

研究の内容

- ①子どもの実態を語り、めざす子ども像を共通理解していく。
- ②「自己調整力」「個別最適な学び」をどのように実現していくことができるかを学習の個性化という視点で日々の授業で検証し、共有していく。
- ③9年間をどのように自己調整力を育てていくのかを系統だてて考え、カリキュラムマネジメント表を作成し、実践しながら軌道修正を図る。

担任が授業づくり・学級づくりに専念できる学校経営 ↔ 教員の働き方改革による教育の質の向上(子どもの笑顔と幸せ)

9年間を見通したカリキュラムマネジメント、小中併設を活かした地域探究活動

ICTを活用した学びの充実
小学校の教科担任制
小中乗り入れ・TT授業の推進

一人一人の教育的ニーズに応じた支援の充実、子どもの居場所づくり、絆づくり

保護者との連携
学校運営協議会との連携
幼稚園、学童、高校との連携

職員会議、ケース会議
子どもを語る会